

東京都立大学 建築学域 都市・建築空間解析研究室とは

1. 態勢

2023年度：教授1名、助教1名、博士3年1名（学内から進学）、修士2年4名（学内から進学3名、学外から進学1名）、修士1年5名（学内から進学4名、学外から進学1名）、学部4年生5名

2. 研究テーマ

都市解析の研究室です。

最近の研究室の継続研究テーマは次のとおりで、これらに関しては研究蓄積があり、それを活用した研究が可能です。このレジュメの末尾に、それぞれの参考論文を添付しています。

- 高齢・成熟・情報社会における都市施設（高齢者施設や公共施設など）の立地・配置・計画
- アクセシビリティと都市構造に着目した都市・建築空間解析
- 表出・言説に着目した都市・建築空間の定量的把握

3. 研究室のスケジュール

ゼミは夏までは1週に1回、秋からは1週に1回、合宿は年1回、7あるいは9月の予定です。

- 12～3月 既往研究の精読、研究テーマの絞り込み、就職活動
- 4～8月 研究テーマの決定、データの収集、進路の決定
- 9～1月 他大学関連研究室との交流会、データの収集と分析、論文の執筆

4. 過去の卒業論文、修士論文のテーマ

2022年度特別研究テーマ

- 自動車依存地域における坂道負荷を考慮したバス停配置モデルの提案
- 廃校の暫定的・段階的利活用の実態に関する調査研究-神奈川県と富山県を対象として-
- 自動運転車の導入による交通事故の削減と交通流の変化-愛知県一宮市を対象として-
- 住宅街において街路環境が交通事故発生に及ぼす影響
- 都市における公衆喫煙所の適切な配置に関する研究

2022年度修士論文テーマ

- 利用者の満足度と維持管理費用を評価関数とする施設の配置と規模の多目的最適化
- 買い物行動における回遊性の評価に関する研究
- 地方都市と大都市の生活利便性の比較-移動時間からみた到達可能性に着目して-
- まちライブラリーの立地傾向に関する分析-東京都・神奈川県・大阪府・兵庫県を対象にして-
- サイクルアンドバスライド駐輪場の最適配置
- 中国の大学キャンパスにおける共有空間および学生間交流に関する研究

2021年度特別研究テーマ

- 通勤通学以外の利用が多い駅における分かりやすさの研究 利用空間の錯綜に着目して
- 交通機能と広場機能の視認に着目した駅前空間景観の評価 首都圏の郊外駅を対象として
- 駅前公共スペースの芝生上での利用者行動に関する分析 座れる設えに着目して
- 駅との標高差に着目したマンション賃料形成要因の分析
- 空き家と地域特性の関連の多時点比較分析 神奈川県の市町村を対象として

2021年度修士論文テーマ

- 都市内での新交通システムとバスの移動負荷の比較 垂直移動に着目して
- ロジスティック回帰分析を用いた工場の土地利用転換傾向に関する分析 神奈川県の複数自体に着目して
- 首都圏主要鉄道沿線におけるサテライトオフィスの立地に関する研究

2020年度特別研究テーマ

- キャプション評価表を用いた植栽が人の経路選択に与える影響に関する研究
- まちライブラリーの立地傾向に関する分析
- 施設滞在時間を考慮した地域拠点施設の配置と規模の最適化
- 地方空港の特性と周辺の土地利用との関係性に関する研究
- 賑わいから見た駅施設による都市の分断の研究

2020年度修士論文テーマ

- 医療圏の段階別に見た病院の一般・療養・精神科病床の地域傾向分析
- 駅の特性ととの関連から見た駅前における広告の色彩の分析-東京西郊の私鉄を対象として-

2019年度特別研究テーマ

- 公園内芝生上における居場所選択行動に関する研究-南池袋公園を対象として-
- 鉄道新線・新駅の開業に伴う市街化の進展に関する研究
- 震災時における雨水利用施設の活用可能性-墨田区を対象として-
- 地方都市における市街地再開事業と周辺商業集積の変化の関連性について-商業集積の施設数変化に着目して-
- 既成住宅市街地における医療機関の立地とアクセシビリティの変遷-東京都郊外を対象として-

2019年度修士論文テーマ

- 観光資源の空間的分布がもたらす地方都市中心市街地の賑わいへの影響
- 大都市圏における認知距離と居住履歴との関連性-東京首都圏を対象として-
- 子ども食堂の立地傾向に関する分析-東京都内複数自治体を対象にして-

2018年度特別研究テーマ

- 都市内のショッピングモールにおける滞在のための空間に関する研究~無料シーティングスペースに着目して~
- 駅前の建築物の特徴からみた鉄道沿線の個性
- 多様な活動が可能な空間を備えた公共図書館の立地等の施設特性に関する研究
- 樹木がパーソナルスペースに与える影響に関する研究
- 歩行者天国内の滞在しやすい空間に関する研究~丸の内仲通りにおける席選択を事例として~

2018年度修士論文テーマ

- 首都圏における繁華街の飲み屋街としての性格に関する研究
- 到達困難度が購買意欲に与える影響の分析-大都市圏の周囲に立地するアウトレットモールを対象として-
- 幹線道路周辺部における大型小売店舗と周辺土地利用の関係に関する研究-さいたま市を対象として-
- 郊外駅前商業地の特有性に関する時空間分析 -店舗の遍在性と固有性に着目して-
- 小売業の広域的分布に着目した地方都市中心市街地における歩行者量の分析
- 住宅市街地の駅前商店街における古着屋の立地に関する研究-歩行者空間に着目して-

2017年度特別研究テーマ

- 歩行者の様相と街路の状況が活気を感じ方に与える影響に関する研究
- 駐輪場との関係から見た放置自転車の発生状況の研究-千歳烏山駅周辺を対象として-
- 経路探索時の不安と携帯端末による位置確認の関連の研究-プロトコル分析を用いて-
- 鉄道連続立体交差事業が商店の凝集性に及ぼす影響に関する研究
- 待ち合わせ中の回遊における空間選好の要因分析-場所の目立ちやすさに着目して-

2017年度修士論文テーマ

- 百貨店撤退後の建物・跡地に関する研究 ~都市特性を考慮した事例分析から~
- 多項分布ロジスティック回帰分析を用いた空き家・準空き家の発生要因に関する研究 ~神奈川県鎌倉市を事例に~
- 多項分布ロジスティック回帰による地方都市中心市街地における駐車場立地の空間的要因の分析 ~商業地の空洞化・分断に目して~
- 着商店の凝集性からみた谷地形と都市活動分布の関連について

2016年度特別研究テーマ

- 大都市圏における鉄道網の時空間構造のデイリーリズムがもたらす影響
- 施設の消長に着目した地方都市中心市街地における歩行者量変動の要因分析
- ヴォイドの方向性から見た東京都心部における神社境内の視空間特性の分析
- アイテムとして表される行為の最適配置モデル ~日常における行為の変遷と相性を考慮して~

2016年度修士論文テーマ

- 利用者の探索回遊行動からみたショッピングセンターの空間構成の評価
- 立地ポテンシャルによる幹線道路が小売業分布に与える影響の分析
- 利用距離と離隔距離のバランスを考慮すべき迷惑施設の適切な配置 -喫煙所を例として-
- 周囲の目的地への案内表示に着目した地下鉄駅の特徴の分析

2015年度特別研究テーマ

- 都市の茫漠さが人々の心情にもたらす影響について-臨海副都心を例として-
- タウンガイドからみた街のイメージと来街者数の関係に関する時系列分析
- 都市空間構造からみた俯瞰夜景の分析-道路・土地利用に着目して-
- 駅との位置関係からみた地方都市における中心市街地のにぎやかさに関する研究

2015年度修士論文テーマ

- 生活関連トリップ集中量と目的地空間特性の対比による人々を惹きつける都市の研究

■住み替えと増改築に着目した自らの住環境を変更しやすい都市の研究

2014 年度特別研究テーマ

■迷惑施設としての喫煙所の最適配置

■経路数による駅空間のわかりにくさの分析

■交通網体系の違いに着目した都市の利便性分析—直通型と階層型を比較して—

■探し歩きしやすいショッピングセンターの空間構成—ラゾーナ川崎プラザと bono 相模大野を対象として—

2014 年度修士論文テーマ

■相互の馴化と浸透に着目した再開発区域と周辺の商業集積の変遷分析

■職住遊の配置に着目した立ち寄りやすい都市空間構成の分析

■通りの名称の認知度と賃料および地価の関係性

2013 年度特別研究テーマ

■歩行時の心理的抵抗を考慮した立体的歩行空間の効果の分析

■住民の地域公共施設に対する価値観の構造の分析—小学校を例として—

■住みたい街ランキングおよび言説と都市構成要素の対比による都市の魅力の分析

■建物が形成する街路空間形状の継起的变化が歩行距離感に与える影響

2013 年度修士論文テーマ

■空間的相互作用を最大化する領域分割パターン—面積と距離の変化に着目して—

■需要の不確実性を考慮した施設配置に関する理論的検討

2012 年度特別研究テーマ

■再開発区域の既成市街地に対する連続性の分析

■推奨散策ルートと地域資源との空間的関連分析

■地下街におけるサインによる経路探索行動の手間の定量化

■休憩施設としての道の駅の適切な配置の検討

2012 年度修士論文テーマ

■小規模店舗集積領域の時系列変化の要因分析—下北沢を対象として—

■居住地及び施設の立地優位性の日周期変動

■商業施設利用時の移動時間最小化を想定した商業地と居住地及び駐車場の最適配置

■移動と施設利用の負荷に着目した住宅の機能を代替する施設と住宅の立地分析

2011 年度特別研究テーマ

■郊外市街地のスーパーマーケット撤退による移動距離・手段に関する影響評価

■年齢階層別の施設利用頻度に着目した施設・住宅最適配置の時系列変化

■道路の使われやすさに着目した商業店舗立地分析—甲府都市圏の国道 20 号線を対象として—

■水平方向の徒歩移動抵抗に立脚した中心市街地の施設立地分析—施設訪問行動の目的性に着目して—

2011 年度修士論文テーマ

■利用者構造の変遷に着目した公共施設の出現と統廃合の分析—多摩ニュータウンの小中学校を例として—

■移動コストを最小化する立体都市モデル—階層的な拠点と交通手段の導入を仮定して—

2010 年度特別研究テーマ

■駅前空間における人の注視特性の評価—広告に着目して

■視野における空間の奥行きに着目した街路景観の評価手法

■中心市街地の交通ネットワークにおける空間の歪みに関する研究

■住宅の機能を代替する施設に着目した都市の時空間構造の分析

■視線の長さに着目した公開空地の評価手法

2010 年度修士論文テーマ

■住民評価から見た集合住宅地における住戸外の空間特性に関する研究

■テナント交替に着目した首都圏郊外の都市変容に関する研究—佐倉市を対象として—

■建築物に関する付加価値の中古戸建住宅市場における評価

2009 年度特別研究テーマ

■自然エネルギー利用と都市エネルギー需要から見た最適な都市形態

■多段階の公共交通機関と拠点施設の導入による都市のコンパクト化の可能性

■店舗表層における希少性に着目した商業都市空間の分析

2009 年度修士論文テーマ

■空地及び高さの効用と移動負荷を考慮した集合住宅群の最適な形態

2008 年度特別研究テーマ

■街路の歩行者密度と進行方向選択の関係—吉祥寺駅前商店街の歩行者専用街路を対象として—

■鉄道連続立体交差事業による商店分布への影響

■あふれだしから見た横丁の街路空間の特徴について～吉祥寺駅前商店街を対象にして～

■都市断面による首都圏郊外市街地の空間構成分析～ニュータウンの特異性に着目して～

2008年度修士論文テーマ

■複数都市で構成される地域空間の集客ポテンシャルモデル-大規模商業施設の立地とその順序を例として-

■人工社会での自治体間競争から見た密度規制戦略の評価

2007年度特別研究テーマ

■小地域データにもとづく地形の自転車移動への影響分析 -東京都多摩市の通勤・通学を例として-

■微地形が小売り商店分布に与える影響

■広域観光における宿泊地選択に関する基礎的分析 -北海道パッケージツアーを例として-

2007年度修士論文テーマ

■地方都市における人口社会増減の分析と評価 -浜松市と金沢市を例として-

■建物の用途別価値とコンバージョンの連関について -東京都千代田区を対象として-

2006年度特別研究テーマ:

■郊外大規模商業施設の立地ポテンシャルに関する研究-双子都市の中間に立地するショッピングセンターに着目して-

■空間構造が人の移動に与える影響 -鉄道と自動車による移動先選択の関係を例として-

■空地が住宅地の価値に与える影響に関する分析 -地区計画指定地の路線価に着目して-

2006年度修士論文テーマ:

■情報メディアが構築する街のイメージに関する研究 -店舗情報の空間分布に着目して-

■個々人の利用頻度を考慮した最適施設配置による空間形成シミュレーション

■住宅ストックと世帯構成に着目した都市シミュレーション

■地形に着目した街路網生成シミュレーション-東京山の手を対象として-

2005年度特別研究テーマ:

■魅力的な坂道の空間構成の定量的分析-東京都心部周辺の有名な坂を題材にして

■来街者の活動空間としての駅前広場に関する研究-歩行者空間の構成に着目して

■俯瞰視線に着目した都市歩行者空間の構成に関する研究-千代田区神田地域を事例として

2005年度修士論文テーマ:

■個人の空間機能利用パターンにねざした都市形成モデル

■不動産価格の形成要因からみた多摩ニュータウンの居住環境評価に関する研究

■利用者による施設選択過程を考慮した地域施設利用構造の理論的分析

■高齢社会における文化施設へのアクセシビリティに関する定量的研究-首都圏の美術館を例として-

2004年度特別研究テーマ:

■トランジットモール導入前後における歩行者の移動自由度の変化について-那覇市国際通りを事例として-

■地形的呼称が付いた建物の分布から見た地域認識に関する分析-丘を例として-

■ガラスの透過性を考慮した街路空間の広がりへの定量的分析

2004年度修士論文テーマ

■空き家、コンバージョン、建物更新を考慮したマルチエージェントシステムによる3次元都市シミュレーション

■地域集会施設の再配置計画に関する数理的な研究-多摩市の将来推計人口をもとにして-

2003年度特別研究テーマ:

■アイテムへのアクセシビリティからみた都市機能の最適配置-書籍利用を例として

■映画から抽出されたニュータウンらしい景観の考察

■視覚情報の氾濫する都市空間の距離構造の研究-秋葉原における商品探索経路を例として

2003年度修士論文テーマ

■都市再生緊急整備地域汐留における都市の立体空間構成に関する研究

5. 研究計画書の協議について

提出前(第二希望含む)に余裕をもってメールにて私宛にお送りください。yoshikawa-tohru@tmu.ac.jp

6. 研究室の先輩との相談

先輩を紹介しますので、メールにて私宛にお申し出ください。